

教科	家庭科	単元名	ソーイング はじめの一歩
----	-----	-----	--------------

本時のねらい

- ・ネームプレートに針の刺す順を守って縫い取ることができる。
- ・適切な位置に玉止めを作ることができる。

本時における 1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・オクリンクプラスを使うことで、他者評価することができる。
- ・iPadで、自分の課題にあった動画をくりかえし見ることができる。
- ・動画を撮影することで、自分の手元（作業活動）を振り返ることができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ミライシード（オクリンクプラス）

本時で育む主な情報活用能力

J-STEP 3, D-STEP 2

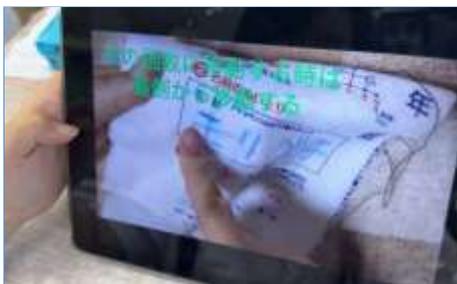
該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○オクリンクプラスを使って、玉結びのやり方を確認する。 ○前時に撮影しておいた友だちの動画も確認し、スタンプで相互評価をする。 【写真1】	○前時で習った玉結びのやり方を動画で振り返る。 ○友だちの玉結びを動画で見ることで、自分と比べて良いところを見つけたりまねをしたりできる。 ○スタンプで相互評価をし、お互いを認め合い仲間作りに繋げる。
展開 (35分)	○本時の活動内容を動画で確認する。 本時のめあて：自分の名前を縫おう！ ○ネームプレートを完成させる。 ① 名前を縫い取りしていく。 ② 玉結び・玉止め・縫い方がわからない時は、iPadで見本の動画を再生し確認する。 ③ 最後の玉止めをする様子を動画で撮影する。 (友だちと撮りあいをしてもよい) ④ オクリンクプラスに玉止めの動画を貼り付ける。 【写真2】	○本時の学習内容動画を見ることで見通しを持って学習に取り組める。 ○自分の見たいタイミングで動画を再生することができる。また、手元の細かいところまで確認することができる。 ○オクリンクプラスに貼る動画を「20秒チャレンジ！」と題して20秒以内の動画を撮影させる。 →縫っている様子が分かるように撮影すること・完成した玉止め部分を写すことを指示する。(教員が評価をするためにも)
まとめ (5分)	・自分の玉止め動画に、今日のふりかえりをコメントする。 【写真3】	○ふりかえりも全体共有することでよいふりかえりを全体に広げ、書き方を参考にすることができる。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】動画にすることで、説明の時間を短縮することができる。



【写真2】好きなタイミングで、見たいところをくりかえし再生することができる。



【写真3】動画を見ながらふりかえりを書くことができる。

児童生徒の反応や変容

- 本時の学習課題への取り組み方を自分に合ったタイミングで繰り返し見たり、途中で止めたりすることができるので、わからない、できないなどで活動が止まることが少ない。
- 友だちの動画と比べられるので、友だちの動画を参考にしながら取り組むことができていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- これまでは書画カメラなどで手本を見せていたが、それだと児童の様子が見えず、児童にとっても手元の細かいポイントが見えなかった。しかし、動画にすることで、くりかえし再生できる、拡大して細かいところまで見られるなど利点が多かった。
- 自身の活動を動画にすることで、客観的にふりかえることができ、「もっとこうしたい。」「次はここに気を付ける。」など具体的なコメントが見られた。